

# 一般質問通告事項一覧

平成30年第4回定例会 No.1

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(1)	櫻井 繁行 【一括方式】	1. 平成30年6月より本格的に運用を開始した地域ポイント推進事業について	①地域ポイント制度の概要について伺う。	市長及び 担当部長
			②現在の推進状況、また、事業の問題点さらに改善点について伺う。	
			③地域ポイント事業を推進し、今後どのような形で本市の地域発展に繋げていくのか伺う。	
		2. 本市における消防団活動について	①現在の分団編成・団員数、また年間の活動状況について伺う。	市長及び 担当部長
			②昨年3月の道路交通法改正により「準中型免許」が新設されたが、本市における団員の運転免許の現状また、消防車両を運転することが出来ない団員への今後の市としての対応について伺う。	
			③地域に広がる自主防災組織や、防災意識の向上を図る市防災訓練等「自助・共助・公助」の連携状況について伺う。	
			④どの自治体においても、消防団員の成り手不足が囁かれるが、団員募集にあたりかすみがうら市としての今後の対応、具体的な取り組みを伺う。	

# 一般質問通告事項一覧

平成30年第4回定例会 No.2

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(1)	櫻井 繁行 【一括方式】	3. 坪井市長が政策として掲げる「新しい観光づくり」について	①本市は、継続的な交流人口の拡大を目指すため「第3セクターかすみがうら未来づくりカンパニー」を設立し、市内の地域資源を活用したサイクリングプログラム、いわゆる体験型交流の観光を推進してきました。現在の取り組み状況について伺う。	市長及び 担当部長
			②本年度、本市は、歩崎地域観光振興アクションプランを策定しています。歩崎周辺地域の多彩な観光資源を効果的に組み合わせた更なる魅力の向上に繋がる取り組みについて伺う。	
			③本年3月29日に土浦市において、日本最大級のサイクリングリゾートである「PLAY atré」がオープンしたが、広域連携も含めた現在の状況を伺う。	
			④「新しい観光づくり」を推進していく中においての、今後の展望。また、新たな交流人口増加に向けた可能性について伺う。	

# 一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

平成30年第4回定例会 No.3

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(2)	古橋 智樹 【一括方式】	1. 産休・育休・介護休の勤続年数相当の待遇化等について	<p>少子高齢化において、子を産み、育てることに、ますます重要性が高まっているが、人口減少における仕事の生産性、能率性も極めて求められている。しかしながら、子育てと仕事の両立には、依然隔てるものが数多い中で、バラまきなどと揶揄されるような政策事業で金をかけず、男女の立場の違いを根本的に尊重し、産休で子育てすることも当然の評価がなされ、女性の立場をもっと改善しなければならない。育休においても男性が務めることも当然の評価がなされる環境に努めなければならない。高齢化の最中、介護休として男女問わず、勤務条件を速やかに改善しなければならない。国県の施策や法改正を待たずとも、市でできることは検証し、実行することこそ、市がめざす交流人口増加、人口維持対策の本分であります。市役所における法令規則の対応のみならず、市内民間企業においても、固定資産税減免や補助金等で住みやすいまちづくりを標題により担うことについて市の考えを伺う。</p>	市長及び 担当部長
		2. 市インフラ計画と社会保障ニーズ現況との整合について	<p>市長選挙をはじめとしたインフラ整備の公約実行にあたり、経済情勢にみられる社会保障需要の現況について当市の動向にデータ等の根拠をもって再確認する必要がある。当市の生活保護、児童扶養手当、障害者手当、教育扶助等のセイフティーネットたる市の社会保障サービス新規申請数等を過去5年及び10年前と比較、近隣市との比較、国県平均との比較を行い、それらに対する国庫金と一般財源割合の変動、そしてインフラ整備費と社会保障費と一般管理費等経常経費との過去年との割合変動の説明とともに今後進める当市のインフラ整備が、未来投資戦略の財源として有益となる比率等で明快な答弁を求める。</p>	市長及び 担当部長
		3. 国保税資産割と固定資産税との二重課税の是正状況について	<p>国民健康保険の広域化による能率化、将来的な合併、新たな当市財源の模索を行うためには、この資産割と固定資産税の二重課税の状況は粛々と段階的に是正をしなければならない。先進市のまちづくりを鑑みて、固定資産税は減免等の有効な施策手段として、単独性を早期に確保すべきである。国保税資産割の合併後からこれまで、そして今後の是正計画を伺う。</p>	市長及び 担当部長

# 一般質問通告事項一覧

平成30年第4回定例会 No.4

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(2)	古橋 智樹 【一括方式】	4. 授業等の教育振興と統廃合等学校施設整備との予算配分現況について	学校統廃合に係る整備や温暖化に対応したエアコン、バリアフリーに対応したトイレの洋式化など、これまでの率先した教育関連施設の実施は評価できるが、教員の配置や親の共稼ぎや薄利多売で多様化する子どもの環境にも十分な教育振興等の対応がなされているのか、当市の学習能力推移やトラブル等の対応件数等の根拠をもってソフト面でも予算計画の配慮がなされているのか答弁を求める。	教育長及び 担当部長
		5. 渋滞や狭隘な市内道路環境に対する安全性の確保現況について	車が無ければ生活し難い昨今において、交通事故件数や推移、歩道等設備の整備事業費や件数の推移、オンデマンドやバス交通網の再編や国県道への要望対策費等、市内の道路の安全性が確保できて、計画的に安全性が高められているか、交通量における予算決算の推移と比較指標等を用いて答弁を求める。	市長及び 担当部長

# 一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

平成30年第4回定例会 No.5

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	田谷 文子 【一問一答】	1. 上佐谷・雪入・山本地区におけるイノシシ被害への対応について	<p>上佐谷・雪入・山本地区のイノシシ被害はかねてより出沒・被害が著しいのは周知の事実であります。次年度以降の当市も予算面から捕獲事業及び補助制度に力を注いでいただけるものと確信しております。</p> <p>そこで次年度以降、県の補助金を充てることになるであろう被害防止対策を実施する市民への補助制度について伺う。</p> <p>①予算額について（県の補助と市の持ち出しの比率）</p> <p>②誰にどの程度まで交付する補助制度とするのか。</p> <p>③電気柵設置のみか、それとも地域ぐるみの対策まで広げるのか。もし広げるとしたら集落単位で電気柵を設置するものも含めるのか。また、集落単位でイノシシ対策のための緩衝帯を設ける等の草刈りまで含めるのか。</p>	市長及び担当部長
		2. 職員のワーク・ライフ・バランスについて	かすみがうら市におけるノー残業デー等の取り組みについて伺う。	市長及び担当部長
		3. かすみがうら市道51号線の進捗状況について	用地買収の時期について伺う。	市長及び担当部長

# 一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

平成30年第4回定例会 No.6

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者	
		(質問の区分)			
(4)	佐藤 文雄 【一括方式】	1. 新たなおみ処理施設建設について	①ごみの減量化・資源化の目標の見直しについて、問う。 ・ 現有施設の活用する立場から、減量化目標を1人1日当たり25%削減、総量で日量30トンを目指す。	市長及び 担当部長	
			②新広域ごみ処理施設建設費の総額はいくらになるのか、問う。 ・ 新広域ごみ処理施設建設費、どこまで膨れ上がるのかわからない。これでは市民の理解は得られない。当市の負担総額もふくめ、明らかにすること。		
			③更なる広域でのごみ処理を見直し、各自治体でのごみ処理を定めた地方自治法の原則に立ち返ることについて、問う。 ・ 更なる広域では災害等緊急事態に対応ができない。		
		2. 市職員の採用について	①当市の職員採用における地方公務員法違反の疑いについて、再度問う。		市長及び 教育長及び 担当部長
			②当市の職員採用に至るまでの流れについて、問う。		
			③当市における職員の長期休暇及び休職の実態を問う。		

# 一般質問通告事項一覧

平成30年第4回定例会 No.7

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(4)	佐藤 文雄 【一括方式】	3. 教育・子育て支援について	<p>①高校生（18才）まで医療費無料化について、問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 完全無料化にいくら必要なのか。</li> </ul> <p>②国民健康保険税における子どもの均等割を軽減することについて、問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国保のマル福ペナルティーが未就学児については廃止されるが、平成29年度決算額で軽減分はいくらか。対象人数は何人か。</li> </ul> <p>③保育士確保（処遇改善）に係る単独補助について、再度問う。</p> <p>④小中学校給食費無料化の必要性について、改めて問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会では、学校給食費の公会計化や無料化（段階的も含む）について議論や検討はなされているのか。</li> </ul>	市長及び 担当部長
		4. 大型開発事業について	<p>平成30年度一般会計予算において、工業団地開発やスマートICを設置する調査費、歩崎公園周辺整備では、観光や防災を合わせた拠点となる栈橋を設置するための調査費など計上した。その後調査結果及び進捗状況について問う。</p>	

# 一般質問通告事項一覧

平成30年第4回定例会 No.8

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(5)	設楽 健夫 【一問一答】	1. 市長等特別職の政治倫理条例の制定及びコンプライアンスについて 一市民の権利は何故奪われ続けているのか	①提案された「市長等政治倫理条例」は何故継続提案されないのか伺う。	市長及び教育長及び担当部長
			②社会教育法第20条から24条公民館法と当市の21年公民館条例、28年旧地区公民館関連条例、公民館運用規則について問う。	
			③太陽光発電施設の適正な設置・管理に関する県ガイドライン運用について伺う。 「追加フロー[①市町村との事前協議②地域の理解促進(地域・改良区等)]の運用等」	
		2. 基幹産業一水稲(水田稲作)農業の危機と対策、基幹用水について	①平成30年度霞ヶ浦地区、千代田地区水稲作付面積と飼料米作付面積について伺う。	市長及び担当部長
			②飼料米の品種変更に伴う市の行政指導について伺う。 1) 品種の変更と反収の予想についての市の見解と指導 2) 平成30年度契約面積と補助金について	
			③平成30年度水稲の現状と対策について伺う。 1) 水稲出荷俵数及び平均反収について 2) 飼料米出荷俵数及び平均反収について 3) 飼料米契約金額と出荷金額の増減について 4) 水田稲作の減収対策及び今後の対策について	
			④基幹用水について伺う。 1) 出島用水(陸田揚水)と落水による菱木川と一ノ瀬川の水量確保(早期揚水)について 2) 出島用水事業に対する運転補助金増額について 「陸田揚水費用負担者に、揚水期間延長増額負担を追わせるのか」	



# 一般質問通告事項一覧

平成30年第4回定例会 No.9

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(5)	設楽 健夫 【一問一答】	3. 「公共交通空白地帯をつくり新たな路線を作る」 答弁・平成30年2月公共交通再編計画とデマンドタクシーの運用及び道路行政について	①霞ヶ浦地区・千代田地区公共交通空白地帯について伺う。 「公共交通の空白地域をつくることにより新たな路線-千代田神立ラインの土浦協同病院、市街地循環バスの一つ」を問う。	市長及び 担当部長
			②交通空白地帯の交通／500円タクシー助成券（6枚／年人）の実際とデマンドタクシー（200円ー400円）の比較について伺う。	
			③デマンドタクシーの現状と改善策について伺う。	
			④協同病院への道路（田村沖宿線延伸道路）整備とバス路線について伺う。 1）田村沖宿線延伸道路整備計画と開通について 2）バス路線経路と料金体系、運行開始について	
			⑤霞ヶ浦二橋の北側第一橋「八木橋」に通ずる県道宍倉玉里線の三ツ谷風返し地区、市道接続道路の接続について伺う。	

# 一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

平成30年第4回定例会 No.10

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	小座野 定信 【一問一答】	1. 千代田中地区小学校統廃合について	①統廃合の方法について、一貫校となる予定か伺う。また、児童たちの心情はどのように配慮するか伺う。	教育長 及び担当部長
			②通学バスの運行計画について伺う。	
			③校舎建設についての計画を伺う。	
		2. 生活ごみについて	①土浦市は有料化になったが、本市としてはどうか、また、広域的な考え方について伺う。	市長及び担当部長
			②人口は減少傾向にあるが、ごみの量はどのように推移しているか伺う。	
		3. 市長の政治姿勢について	①かすみがうら市の未来像について伺う。	市長
②耐震補強していない公共施設、千代田公民館や第一常陸野公園などあるが、今後どのようにするか伺う。				

# 一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

平成30年第4回定例会 No.11

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(7)	来栖 丈治 【一括質問】	1. 人生100年時代に向けたまちづくりの将来像と生涯教育（リカレント教育）について	政府では昨年の9月から「人生100年時代構想会議」を設置し、子供たち誰もが経済事情にかかわらず夢に向かって頑張れることのできる社会、いくつになっても学びなおしができる新しいことにチャレンジできる社会づくりに向け取りまとめがされたと聞きます。研究者によると2007年生まれの子供の50%が到達する年齢は107歳と予想されています。そこで、本市の将来構想として市の実情や課題の克服に向け動きを加速することが必要と考えますが市長の所見を伺います。	市長及び教育長及び担当部長
		2. 市民生活の安全安心を高めるための市の取り組みについて	①道路や施設への倒木により電線への被害や通行制限、停電など毎年のことになってきました。道路や施設管理上、管理者責任を問われる事例、また、住民が屋敷や山林の樹木の倒木により管理者責任が問われる事例もあると聞きますが、道路管理上の本市の対応について伺います。  ②市では毎年総合防災訓練を行っていますが、職員の参集訓練の実施や参集時間などは把握されているのか。これは、地域防災計画などとも関連しますが、先進事例などから職員の居住の実態調査のもと対策を講じる市町村や職員の市内居住を求めているところもあります。本市の職員居住の実態や参集時間などが考慮された計画、運営になっているのか、有事の際地域を知っている職員の配置が有効と考えますが実情と今後の対策などについて伺います。	市長及び担当部長

一般質問通告事項一覧

平成30年第4回定例会 No.12

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(7)	来栖 丈治 【一括質問】	3. 野生鳥獣対策を地域ぐるみで取り組む体制づくりについて	①昨年の第4回定例会で先進事例を紹介し国の総合交付金を活用する提案をさせていただきました。本市の野生鳥獣対策は、被害を受けた住民や農業者から本市に連絡があり、担当課の相談、対応、市で対処できないことは捕獲を猟友会に協力いただく流れと聞いています。今は点と線で、これを面にしていく取り組み、仮称被災地域連絡会のような組織づくりを提案します。被災のある行政区が連携する形や旧村での地区連絡会が主体となって、地域課題として面的に取り組むことで実行効果があがると考えますが本市の取り組みを伺います。	担当部長
			②本市ではわな免許の助成が行われていますが、相談者にどんな説明をしているのか伺います。猟友会関係者からわな免許を取得しても更新率が悪いと聞きます。免許取得後に猟を行う仕組み、手続きや経費、猟友会への加入の有無も含め、きめ細かな説明が必要と考えます。また、イノシシがかかった場合、連絡体系、止め打ち従事者の経費、イノシシ本体の処分など含め、本市の状況と今後の対応について伺います。	
			③本市から移動わなを借りた住民から、アライグマとハクビシンを同じに引き取ってほしいという要望を耳にします。ハクビシンは逃がしてくれでは意味がない。災害を受けた生活者の視点で、必要があれば土浦市・かすみがうら市農作物鳥獣被害防止計画の見直しや茨城県への対処要望などで何とかしてほしいと思いますが、これらについて伺います。	

# 一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

平成30年第4回定例会 No.13

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(7)	来栖 丈治 【一括質問】	4. 障害者雇用や障害者福祉のさらなる充実に向けて	①中央省庁の障害者の雇用の水増し問題が報道され、行政の信頼が損なわれています。市の対応について懸念を持っている方も少なくないことから、障害者雇用に関する本市の実態について伺います。	担当部長
			②重度障害者マル福の対象者は、障害年金受給者を初め、身体障害者手帳や知的障害の方を対象とした療育手帳が重度に当たる障害を持った方であり、精神障害の方は精神障害者保健福祉手帳を所持していても、受給対象とはなっておりません。障害の種別によって、それぞれの障害者の置かれている状況は異なるかと思いますが、同じ障害者手帳を持っている方に対しては、抱えている経済的な課題に対して同様の支援の手が差し伸べられるべきだと考えますが、本市の状況について伺います。	
			③成年後見制度は、認知症や知的障害者など判断能力が不十分な方々の「自己決定の尊重」「残存権利の活用」などを主旨として、本人の個別の状況に応じた柔軟かつ弾力的で利用しやすい制度でなければなりません。国では、平成28年に成年後見制度利用促進法を制定し、市町村は地域連携ネットワークづくりなど制度の利用促進に関する事項を盛り込んだ基本的な計画を定めることになったと聞きました。茨城県は全国平均を下回っているようですが、本市の成年後見制度の推進状況と計画策定の進捗について伺います。	